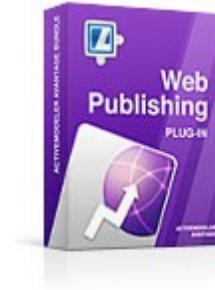




ActiveModeler Avantage



プロセス モデル Web パブリッシング ユーザー ガイド



© 2008 KAISHA-Tec Co. Ltd. Japan
5-17-8 Inokashira,
Mitaka-shi, Tokyo, 181-0001 JAPAN

Document Revision:	1.131
Date:	05/26/2008
Time:	10:51:35 AM

ActiveModeler™ and ActiveFlow™ and ActiveModeler Avantage™ are registered trade marks of KAISHA-Tec Co. Japan

Web Publisher プラグイン

Web Publisher プラグインにより、BPMN プロセス モデルを *HTML Web* として発行することができます。エクスポートされた *Web* は、クリックしてサブプロセスにドリルダウンできます。

Web Publisher プラグインについて

Web Publisher プラグインは、単体または複数の BPMN ダイアグラムを、Web ページの集合として出力ディレクトリにエクスポートします。エクスポートされたファイルは、任意の Web サーバーにアップロードし、配置できます。

HTML テンプレートは、アウトプットの形式を標準化するのにも使えます。

プロセス ダイアグラムを発行するには

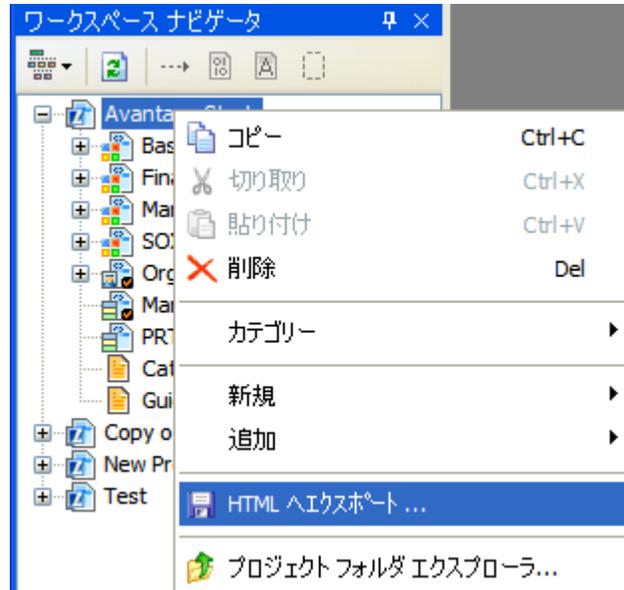
発行コマンドは、プロジェクト、フォルダ、モデル ファイル、メジャーポイント、特定ダイアグラムなどのワークスペース ナビゲータのツリー項目から実行できます。

ダイアグラム以外のツリー項目からダイアグラムを発行すると、発行後の HTML には、その項目の範囲内の全ダイアグラムが含まれます。

ダイアグラム レベルで発行コマンドを選択した場合は、そのダイアグラムが、ダイアグラムの最上位ページとみなされます。独立したサブプロセスの接続も、同様に発行後の HTML に含まれます。

Web Publisher を起動するには、ツリー項目を選択して [HTML へエクスポート] を選択します。

Figure 1. [HTML へエクスポート] メニュー



オプションの発行

[オプションの発行] ウィザードを使用すると、エクスポート後の Web ページの内容や体裁をカスタマイズできます。

ビジネス情報ページ

このページでは、Web ページに表示する情報の種類を定義できます。

[ビジネス情報] ページでは、次のように指定します。

- [ダイアグラム] を選択すると、図形ごとの情報がツールチップに表示されます。ツールチップの選択内容はタブ形式で表示され、これらのタブの内容はさらに、[オブジェクト情報] の選択により定義できます。
[一般] タブには、図形に関連する一般的情報、たとえば名前や説明を表示できます。[オブジェクト情報] の [一般] チェック ボックスを選択すると、オブジェクトの一般的情報が表示されます。
メトリクスを表示するには、[メトリクス] チェック ボックスをチェックします。
図形の関連ドキュメントを表示するには、[関連ドキュメント] チェック ボックスをチェックします。
- [使用されているところ] を選択すると、ActiveModeler Advantage が [分析] > [使用されているところ] でレポートするのと同じ内容が、[使用されているところ] タブに表示されます。

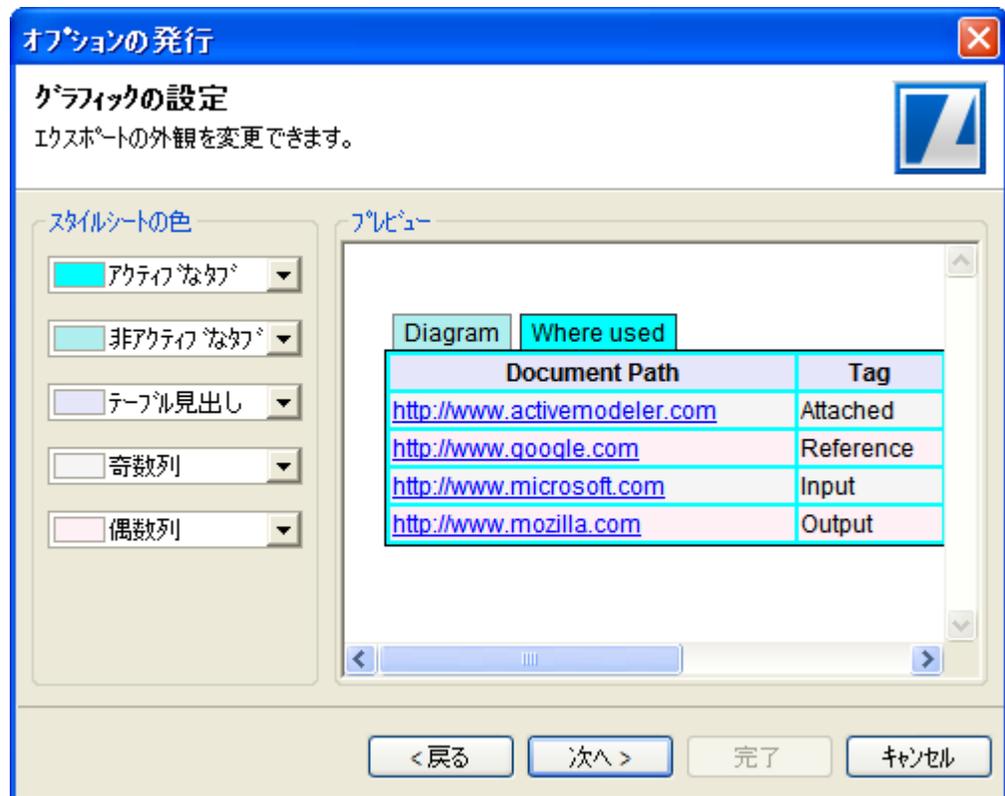
Figure 2. [ビジネス情報] ページ



グラフィックの設定ページ

出力された html ファイルは、このページで設定するさまざまなカラーピッカー コントロールを使って CSS をカスタマイズできます。これらのコントロールは、簡単に使用できるように、実際の色で表されています。

Figure 3. [グラフィックの設定] ページ



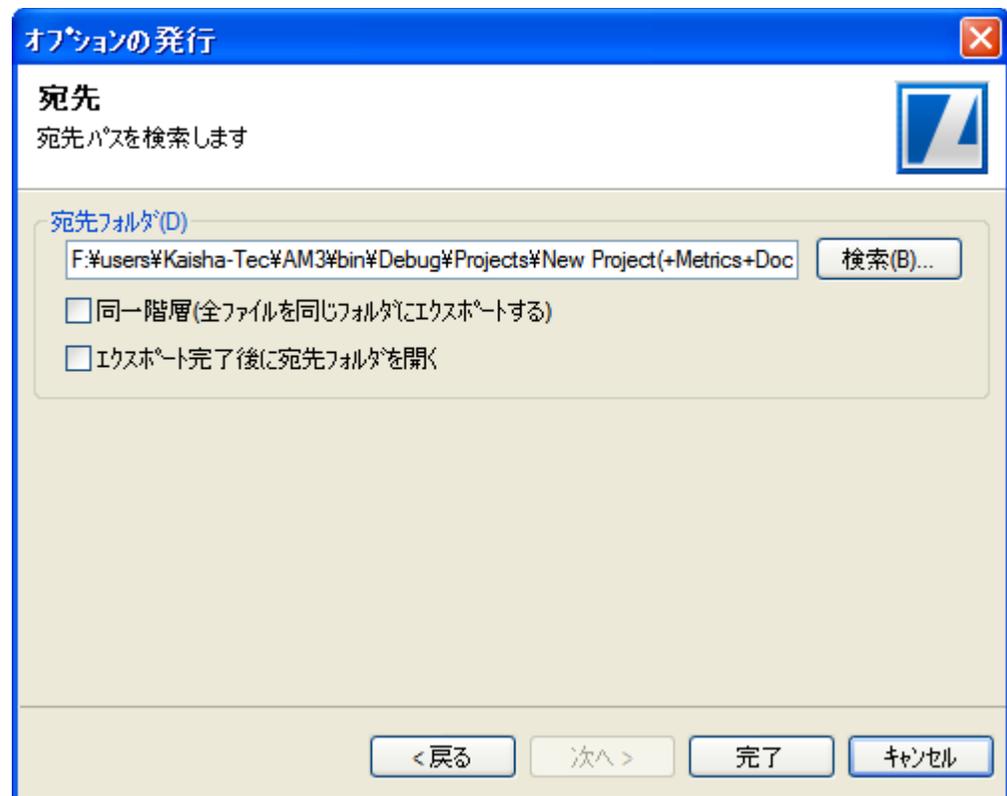
宛先ページ

このページでは、Web ページを出力する宛先フォルダを指定できます。

[同一階層] オプションを指定すると、ワークスペース ナビゲータの階層に関係なく、出力された html ファイルがすべて同じフォルダに保存されます。このオプションをチェックしない場合は、ツリーの階層と同じように、異なるフォルダにダイアグラムが割り当てられます。

[エクスポート完了後に宛先フォルダを開く] オプションを使用すると、エクスポート結果をすぐに表示できます。

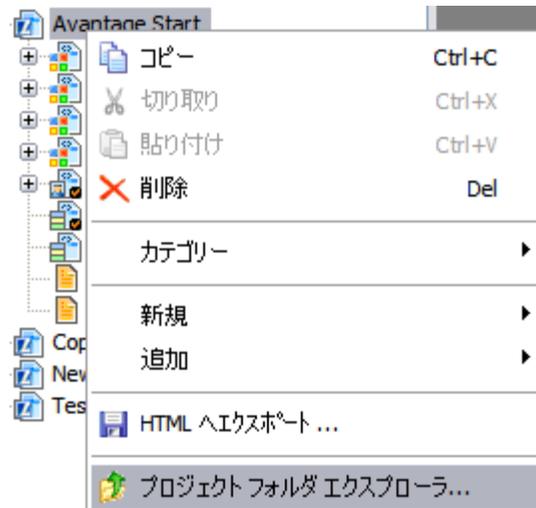
Figure 4. [宛先] ページ



ファイルを表示するには

フォルダを自動的に開くオプションを選択しなかった場合は、ナビゲータでプロジェクト項目を右クリックし、[Explore project folder] メニュー項目を選択します。エクスプローラ ウィンドウが開き、プロジェクト フォルダの内容が表示されます。

Figure 5. [Explore project folder]

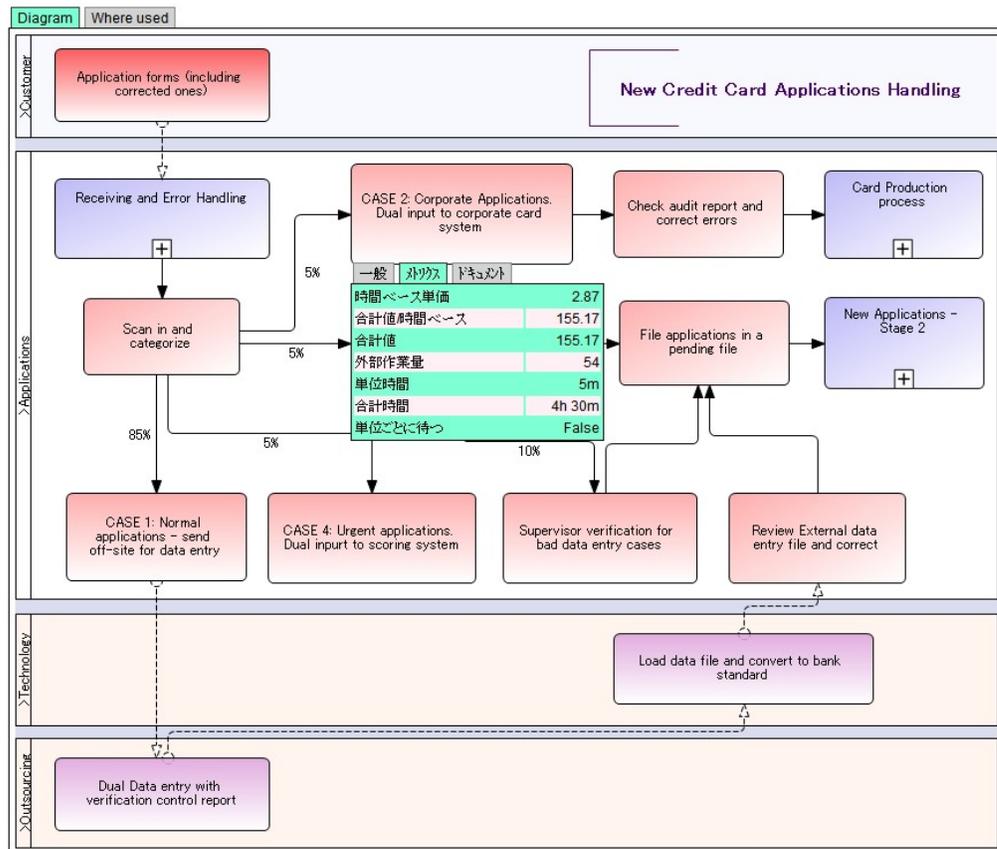


ブラウザでのファイル表示

各 HTML ファイルの名前は、ファイルの作成元のダイアグラムから付けられます。たとえば、セクションの最上位ダイアグラムの名前が「Credit (as is)」の場合、それに対応する html ファイルの名前は「Credit (as is).html」になります。

Figure 6. Web ブラウザに表示された最上位ダイアグラム

Process model: **Finance**
 Diagram: **Credit (as is)**
 Export date: **11 aprilie 2007 21:48:13**

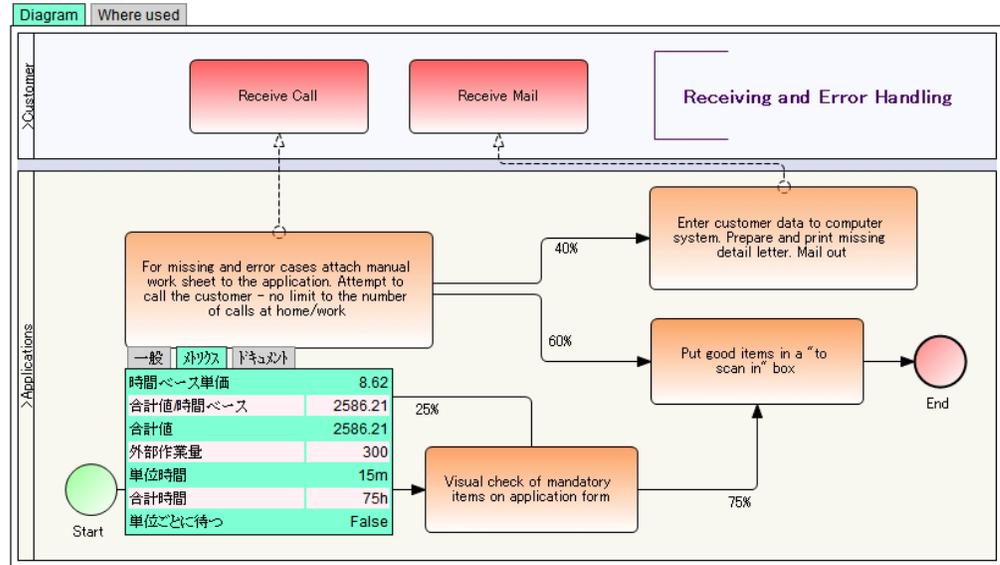


掲載機種 [ActiveModeler](#)

Avantage で操作するのと同じようにドリルダウンすることができます。サブプロセスの [+] (プラス) 記号をマウスでクリックすると、ドリルダウンしてそのダイアグラムを表示できます。Backspace キーまたは [戻る] ボタンを押すと、前のダイアグラムに戻ります。

サブダイアグラム

Process model: Finance
 Diagram: Receiving and Error Handling
 Export date: 11 aprilie 2007 21:48:15



搭載機能 [ActiveModeler](#)

➔ 注：組み込まれているサブプロセス (expand タイプのサブプロセス図形) では、サブプロセス が空の場合、html ページは作成されません。したがって [+] 記号をクリックしてもドリルダウンできません。

テンプレート

テンプレートとは、

テンプレートは、標準形式の HTML オブジェクトとキーワードを含む HTML ページで、エクスポート処理でダイアグラムとともに作成されます。
例：

	Model: {ModelName}	Diagram: {DiagramName}
{DiagramScreenshot}		
Author: {DiagramAuthor}	Version: {DiagramVersion}	Date: {ExportDate}
Security: {propSecurity}	Other information of interest can go here: {DiagramModificationDate}	

中括弧 { } に指定されないすべての情報は、エクスポートされる全ページに静的情報として表示されます。

中括弧 { } は、エクスポート処理中にチェックされます。あるページには、別の著者やダイアグラムなどを指定することが出来ます。

テンプレートエディタ

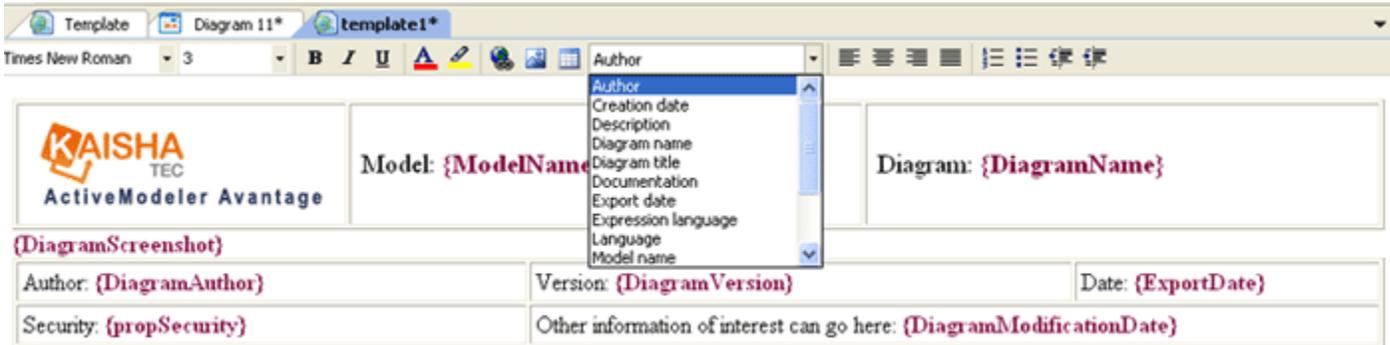
Web Publisher プラグインは、固有の HTML テンプレートエディタとともに提供されます。

テンプレートを作成するには、最初に右クリックで project を選択し、次に “New->HTML file...” を選びます。

既存の HTML ファイルを、そのプロジェクトに追加することもあります。その場合は、同じように “Add->Existing text file...” を選んでください。必ず、*. * file セレクターを使ってください。

ワークスペースナビゲータから選択したファイル上のテンプレートを右クリックし、“Edit” メニュー項目を選択します。標準 HTML エディタが起動されます。

例を見てみましょう：



テキストフォーマット、インデント、リストグループなどは、標準が使われます。リンク作成、テーブルやイメージ挿入なども可能です。

Properties drop-down ボックスを用いて、Native および Custom 属性を挿入することが出来ます。

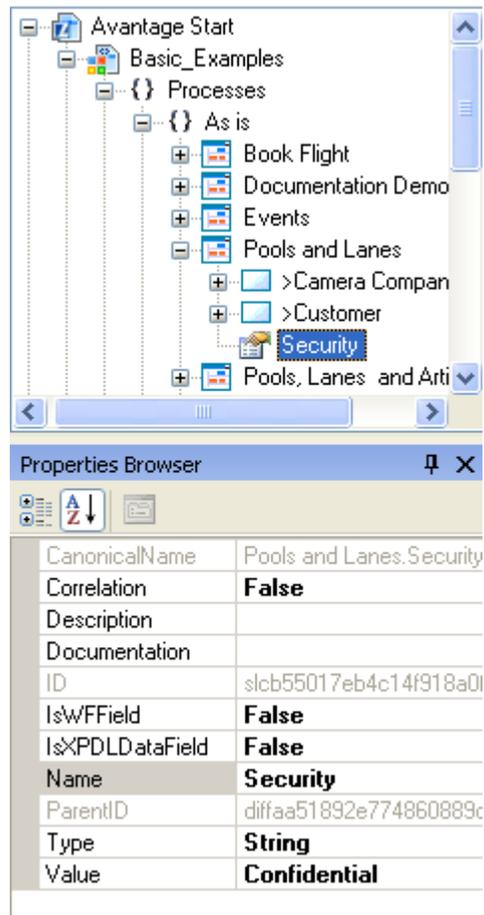
Native 属性は、Avantage 属性ブラウザーに表示される内容です。ダイアグラムでは、名前、バージョン、著者などの属性が使用されます。これらの項目（キー）は、すべて Properties drop-down ボックスに含まれています。例えば、*Author* 項目を選ぶと、テンプレートに“*{DiagramAuthor}*” が挿入されます。もちろん、この文字列は入力も可能ですが、セレクターを使用することで安全で簡単な編集を行うことが出来ます。

Custom 属性は、Properties 説明の Avantage ドキュメントに記述されている内容です。

ダイアグラムに、属性を追加し、その属性に名前を付け、値を指定することも可能です。その属性に対して作成されるキーは、

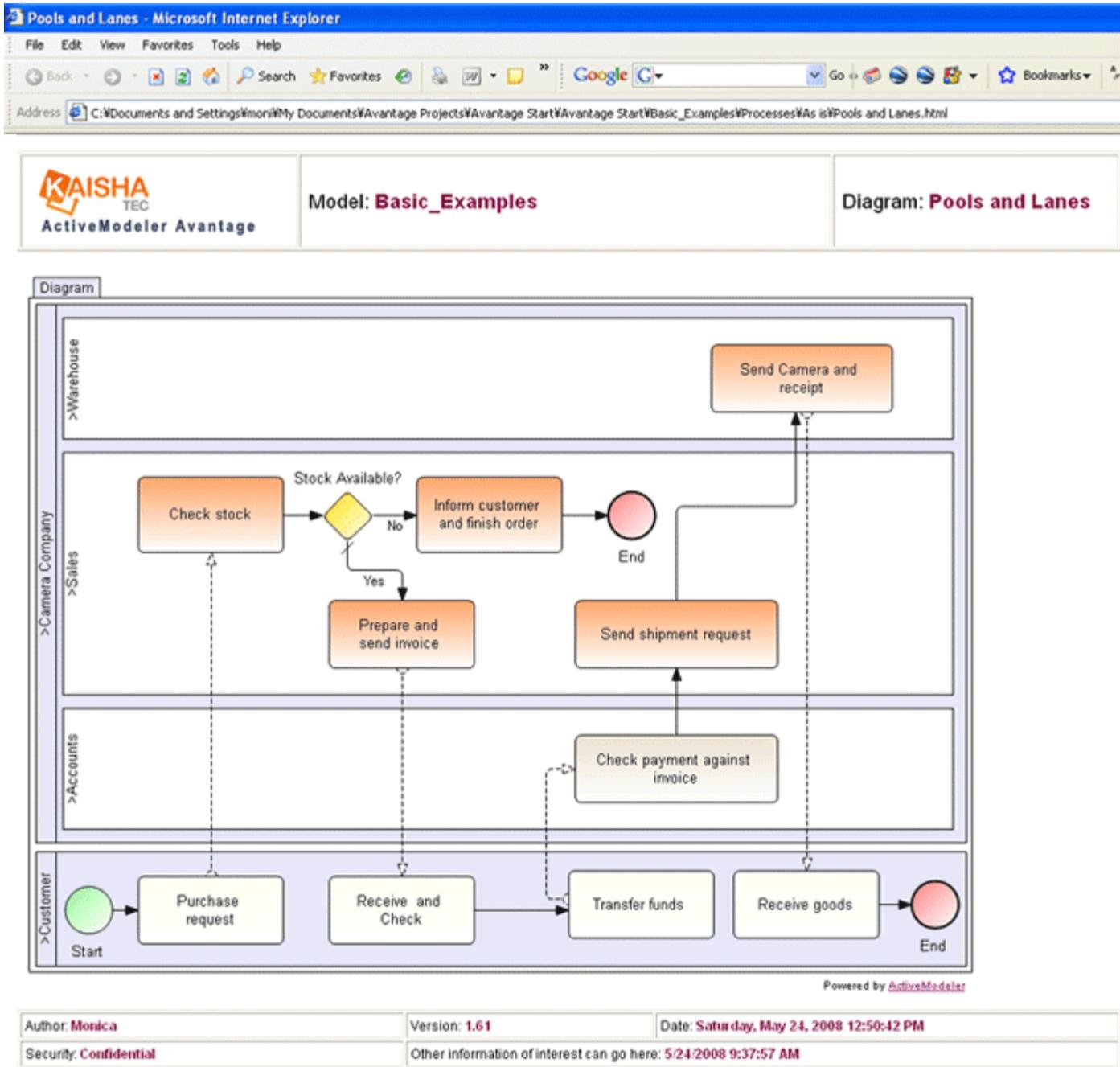
{propPropertyName} の形式になります。

例えば、*Security* という名前のダイアグラム属性を定義するとしましょう。HTML エディタは、プロジェクトダイアグラムに定義されているすべての属性を調べ、Properties drop-down ボックスにリストアップします。上の説明の例でいえば、*{propSecurity}* キーを挿入しましたが、これは、プラグインに、このダイアグラムの *Security* 属性に対して与えられた実際の値に置き換えることを要求しています。



注： Avantage Web Export の全機能を活用するには、他のツールで作られる style ページ挿入の HTML ページではなく、添付の標準ツールの使用が望ましい。

テンプレート機能を使ってエクスポートされるダイアグラムの、ごく簡単な例を示します。



制限事項

このプラグインには FTP 機能がありません。

http://sourceforge.net/project/showfiles.php?group_id=21558

から FileZilla をダウンロードし、FileZilla を使用してファイルを Web サーバーに移動することをお勧めします。